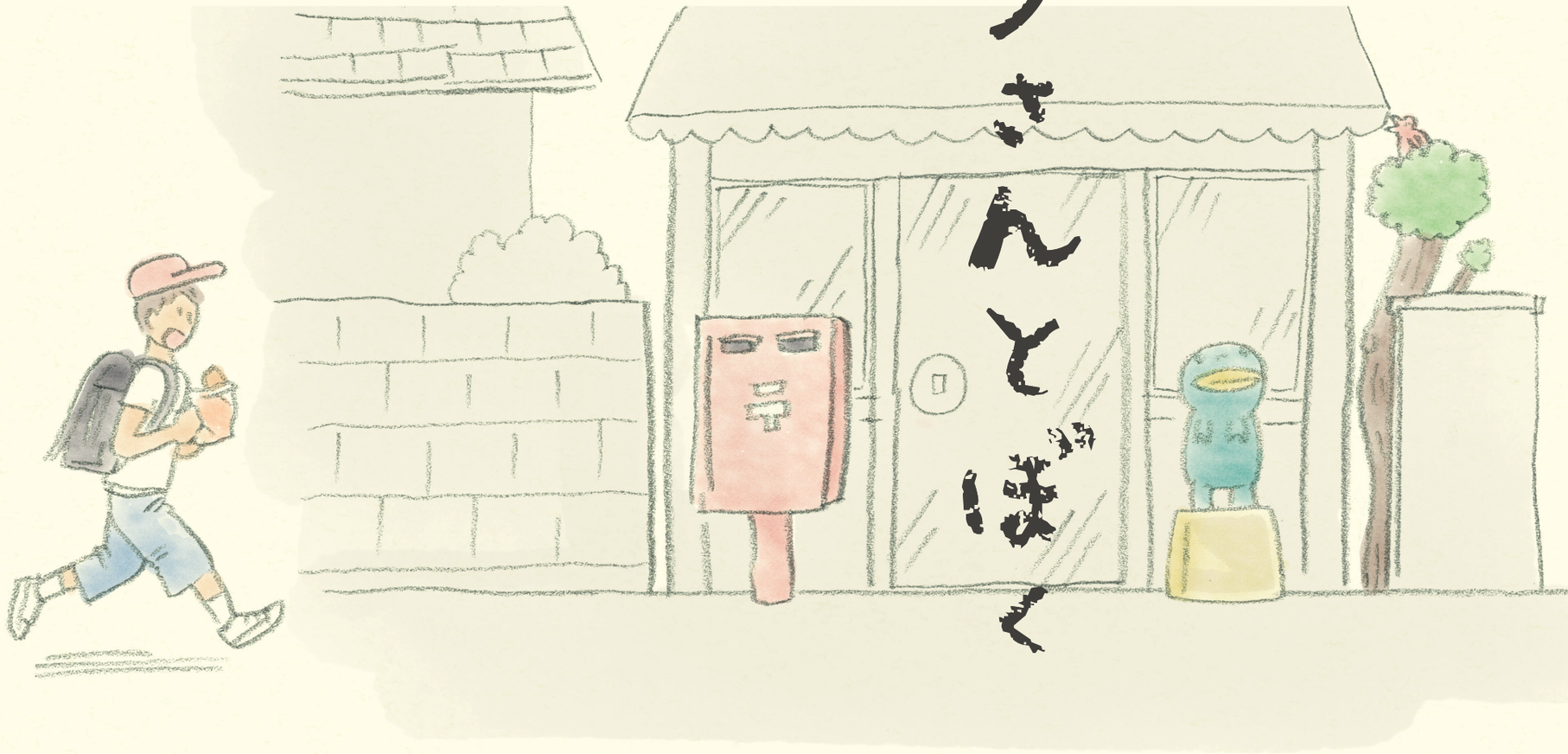
ナラノさんと ぼく



映像(えいぞう)で見(み)る加山興業(かやまこうぎょう)
加山興業(かやまこうぎょう)の紹介動画(しょうかいどうが)

作(つく)って楽(たの)しむ加山興業(かやまこうぎょう)
パッカー車(しゃ)ペーパークラフト

編集・発行／
加山興業株式会社
〒442-0008 愛知県豊川市南千両 2-1
0120-053-381
http://www.kayama-k.co.jp/

KAYAMA

ある朝

…

コケッ
コッコー!!

うーん

はやくおきなさい！
ちこくするわよっ！

ガバ

はっ

やばい！
ホントに
ちこくしちゃう！

もっとはやく
おこしてよー

おこした
でしょ！

ゴハンは!?

もっていく！
いってきます！

いそげ！
いそげ！

信号が赤だ！

キーンコーン

あっ、チャイム！
学校がはじまっちゃう！

どうしよう
おくれちゃうよー！

だれも
みてないしぃ…

キョロ

キョロ





かんがえてみよう



“ぼく”がした「ダメ」なこと、
いったいなんだろう？

なぜ「ダメ」って
いわれたんだろう？

思いついたことを、
右のスペースに書いてみよう。





解説コーナー

信号無視も ポイ捨ても 法律違反!

信号無視をするとどうなる?

車にぶつかったり、事故の原因になります。自分がキケンな目にあうばかりか、自分以外の人をキケンにまきこむこともあります。

ゴミをポイ捨てするとどうなる?

みんなが道にゴミを捨てたら、町がゴミだらけで汚くなります。ゴミが事故や病気の原因になったりするかもしれません。

「他の人がしているから自分もしても大丈夫」とか「少しぐらいなら大丈夫」とか
みんなが思い思いに好き勝手なことをしていては、いつか困ったことになるでしょう。

そうならないように、みんなが安心して暮らせるよう定められたルール、
それが法律です。

ルールはみんなのためのもの。ルールは必要だからあるもの。
ルールを知り、ルールを守ることで、みんなが安心して暮らしていくことができます。







かんがえてみよう



ゴミがたまってしまう原因は
いったいなんだろう？

うまくゴミを処理するには
なにが必要だろう？

思いついたことを、
右のスペースに書いてみよう。





解説コーナー



ゴミ処理問題を抱える地域

世界の国々の中には、日本のようなゴミ収集が行われていない地域も多くみられます。そのような地域の人々がどのようにゴミを処理しているかというと、例えば、集落の近くの空き地や湿地などに（国によっては流れている川に）ゴミを捨てているケースがよくあります。ゴミの収集が行われている地域でも、焼却処理をしているところはほとんどなく、収集時のそのままの状態で捨てられています。生ゴミ類は自然へと還るスピードに追いつかないほどの量が捨てられ、ビニールやプラスチックなどは自然へ還ることが難しいため、ゴミは減ることもなくたまり続け、広範囲にわたってゴミ山ができあがるのです。







解説コーナー

日本で出るゴミのほとんどは産業廃棄物

家庭から出るゴミの量は年間4,317万トン（東京ドーム約116杯分）。一方、家庭以外（お店や会社、工場・建設現場、病院など）から出る、産業廃棄物とよばれるゴミの量は年間約3億8,703万トン※。日本で出るゴミのほとんどが産業廃棄物であるといえます。

※平成28年度 環境省発表





加山興業は産業廃棄物の処理を請け負う会社

産業廃棄物はそれを出したお店や会社、工場・建設現場、病院などが責任をもって正しく処理をしなければなりません。加山興業は、そうしたところから産業廃棄物の処理を請け負っています。

リサイクルできる素材をとりこぼさないようにし、焼却処分する量を減らすように努め、環境問題に真剣に取り組んでいます。







解説コーナー

ゴミを輸入する国、スウェーデン

スウェーデンでは近隣の国から年間約80万トンもの可燃ゴミを輸入しています。他国では不要とされているゴミを引きとり、ゴミを燃やす時の熱を使ってお湯をわかし、ゴミ処分場の近くの家庭などへ暖房用のお湯として供給しています。また、焼却時の熱を発電用にも利用しているので、とてもムダの少ない、お得なゴミの利用方法といえます。

世界一のリサイクル大国、ドイツ

ドイツではゴミの分別ルールがとても細かく決められています。また、びんやペットボトルには容器代が上乗せされていて、飲み終わった容器をお店にもっていくと、上乗せされていた料金が戻ってくるしくみになっています。容器を返さないと損をすることになるので、容器の回収率のアップに役立っています。







かんがえてみよう



地球の環境を守るために
なにをすればいいだろう?

今すぐにでも、自分たちに
できることはなんだろう?

思いついたことを、
右のスペースに書いてみよう。

夢だったのかな…

はっ

コケッコッコー!!

わっ、もうこんな時間

いってきます！

いそげ！いそげ！

あっ赤信号

アウトー！じゃ!!

はっ

よし、青になった！まだ間に合うな…

クシャ

はやく青信号にかわってれー

ガサガサ

ピタ

いそげっ！

ニコ

おしまい

ご家族の方へ

この冊子では、「なぜルール（法律）があるのか」また、それを「なぜ守らなければならないのか」を学習することから始まり、現在の問題点や現状の把握を通して、未来のためにできることを考えてもらうことを目的として作成しました。
様々な観点から物事を見通すことで選択肢の幅を広げ、自らで考え、未来を作り出して欲しいとの思いを込めています。
ご一読後、皆さんで「環境」と「未来」について語り合って頂けますと幸いです。

また、毎年４月22日は「アースデイ」＝「地球のことを考えて行動する日」です。
近隣を清掃し、しっかりと分別する、不用品をリサイクルショップに持っていく、電気の使用を抑える。二酸化炭素（CO_2）といった地球温暖化の問題を削減するため自然（再生）エネルギーを利用する、などささやかでも一人一人が行動を起こせば未来への力となります。

地球のために私たちができること。
今後も加山興業は、できることやるべきことを深く考え、活動して参ります。

登場キャラクター紹介



「ぼく」

好物のカレーパンを朝から食べるぐらいに元気な男の子。小学3年生。夏休みの宿題はギリギリになってやるタイプ。虫歯はゼロ。

テラノ（寺野）さん

加山の森でくらす、高貴な身分のお方。不思議な力をもっている。環境破壊を心配している。いちご大福が好き。人気キャラクターの仲間入りをもくろんでいる。

モーリー博士

美しい自然をこよなく愛するものしり博士。コーヒーよりも紅茶、とくにハーブティーを好む。加山の森は博士の頭にあるという噂。

加山興業が、していること

